

**(資料 3)**

**令和 6 年度  
企業版ふるさと納税  
寄附活用事業効果検証**

## 1. 寄附充当事業

事業名称	観光拠点施設再整備事業				
担当課	市民生活部 産業創造室 観光課				
事業概要	「アイセルシュラホール」は、船形埴輪と修羅をモチーフとした特徴的な外観で生涯学習施設として親しまれてきた。 この特徴的な外観を活かし、本市の豊かな歴史資産の価値や魅力を紹介するとともに、市民と来訪者の交流を促進し、市域の賑わいと活性化を図ることを目的に、観光拠点施設として観光情報の発信や特産品販売や飲食ブースといった観光拠点機能を付加するリニューアル工事を行う。				
事業経費（円）	合計	内訳			
		寄附額	一般財源	国庫・府費	その他
	124,586,000	2,850,000	69,328,000	52,000,000	408,000

## 2. 寄附内容

寄附企業数	14社		
寄附金額（円）	合計	現金	価額
	2,850,000	2,850,000	
物納の有無	なし		
物納の場合その名称	-		
物納の場合その内訳			

## 3. 地域再生計画での位置づけ

基本目標	基本目標1	地域の人や資源を活かし、にぎわいと活力を創出する
事業名称	第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生推進事業	
	ア 地域の人や資源を活かし、にぎわいと活力を創出する事業	

## 4. 事業成果

指標（KPI）	アイセル シュラ ホール年間来館者数		
	現状値（2022年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）
	126,305人	153,750人	116,741
事業評価（効果）	生涯学習施設であったアイセルシュラホールに、物販や飲食エリア、古墳ジオラマ等を備え、来訪者の受け入れ態勢を整備・強化するリニューアルを行ったことで、本市周遊の観光拠点として、まちのにぎわい創出につながった。 また、本事業を広くPRすることで、14社もの企業にご賛同いただき、寄附金を効果的に活用しながら、施設整備を行うことができた。		
今後の方向性	アイセルシュラホールのリニューアル工事（令和6年8月～令和7年1月末）に伴う一部区域の閉鎖により、年間来場者数は現状値より若干減少したものの、多くの方に来館いただくことができた。今後とも、関係部署や各種団体、近隣自治体と連携を図りながら、魅力的な企画の実施や各種SNSを活用したPRを展開していく。また、新たな予算を伴うプロモーション事業などを実施する際は、企画検討段階から、企業版ふるさと納税寄附希望企業への積極的な周知と事業PRを行い、寄附金の獲得にも努める。		

## 1. 寄附充当事業

事業名称	ふじいでら再発見コーナー整備事業				
担当課	教育委員会 教育部 文化財保護課				
事業概要	本市の豊かな歴史資産の価値や魅力を紹介するとともに、市民と来訪者の交流を促進し、市域の賑わいと活性化を図ることを目的に、アイセルシュラホール2階に藤井寺市の近現代史について、ともに発展してきた近畿日本鉄道の資料等に加え、懐かしい風景や物品で紹介する展示コーナーを整備する。				
事業経費（円）	合計	内訳			
		寄附額	一般財源	国庫・府費	その他
	3,006,902	3,000,000	6,902	0	0

## 2. 寄附内容

寄附企業数	1社		
寄附金額（円）	合計	現金	価額
	3,000,000	3,000,000	0
物納の有無	なし		
物納の場合その名称	-		
物納の場合その内訳			

## 3. 地域再生計画での位置づけ

基本目標	基本目標1	地域の人や資源を活かし、にぎわいと活力を創出する
事業名称	第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生推進事業	
	ア 地域の人や資源を活かし、にぎわいと活力を創出する事業	

## 4. 事業成果

指標（KPI）	アイセル シュラ ホール年間来館者数		
	現状値（2022年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）
	126,305人	153,750人	116,741人
事業評価（効果）	アイセルシュラホールの観光拠点施設としてのリニューアルにあわせ、近畿日本鉄道株式会社と協議を重ねながら魅力ある展示物品の貸し出しを受け、2階に「ふじいでら再発見コーナー」を設置したことで、新たなにぎわいスポットとなっている。また、大半の事業費を寄付金で賄え、展示コーナーの整備を行うことができた。		
今後の方向性	今後とも、近畿日本鉄道株式会社と定期的な意見交換を行い、連携を図りながら新たな展示企画の実施などを展開し、多くの方に来館いただき、KPIの向上にもつなげていく。また、新たな予算の伴う企画を実施する際は、企業版ふるさと納税寄附希望企業への積極的な周知と事業PRを行い、寄附金の獲得に努める。		

## 1. 寄附充当事業

事業名称	創業支援事業				
担当課	市民生活部 産業創造室 商工労働課				
事業概要	業種や事業規模など異なる状況下において様々な課題を抱える市内企業のうち、特に創業者を支援するために、創業スクールの実施や、直接的支援として事業者支援補助金制度（創業支援枠）を実施し、市内事業者を支援する。				
事業経費（円）	合計	内訳			
		寄附額	一般財源	国庫・府費	その他
	6,815,000	100,000	6,715,000	0	0

## 2. 寄附内容

寄附企業数	1社		
寄附金額（円）	合計	現金	価額
	100,000	100,000	0
物納の有無	なし		
物納の場合その名称	-		
物納の場合その内訳			

## 3. 地域再生計画での位置づけ

基本目標	基本目標1	地域の人や資源を活かし、にぎわいと活力を創出する
事業名称	第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生推進事業	
	ア 地域の人や資源を活かし、にぎわいと活力を創出する事業	

## 4. 事業成果

指標（KPI）	創業支援事業受講者数		
	現状値（2022年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）
	48人	50人	31人
事業評価（効果）	市内での創業者を支援するため、創業スクールの実施や、事業者支援補助金による金銭的支援を行った。また、寄附金も活用しながら、事業者支援補助金（創業支援枠）に係る補助対象経費を拡充したことで、創業支援事業の有効性を向上することができた。		
今後の方向性	今後も、補助金利用者の声を聞きながら、寄附金の獲得にも努め、経営環境の変化に応じ適切に見直しを実施することで、より効果的な補助メニューの展開を検討していく。また、支援事業の周知や効果的な事業展開により、指標としている創業支援事業受講者数の拡大にも努める。		

## 1. 寄附充当事業

事業名称	中学校自動採点システム導入事業				
担当課	教育委員会 教育部 学校教育課				
事業概要	近年、学校現場における働き方改革が急務となっており、教員の業務負担軽減と採点の効率化などを目的に、市立中学校3校に同時に自動採点システムを導入する。				
事業経費（円）	合計	内訳			
		寄附額	一般財源	国庫・府費	その他
	376,200	100,000	276,200	0	0

## 2. 寄附内容

寄附企業数	1社		
寄附金額（円）	合計	現金	価額
	100,000	100,000	0
物納の有無	なし		
物納の場合その名称	-		
物納の場合その内訳			

## 3. 地域再生計画での位置づけ

基本目標	基本目標2	子どもたちが輝き、生涯にわたり学び・活動する
事業名称	第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生推進事業	
	イ 子どもたちが輝き、生涯にわたり学び・活動する事業	

## 4. 事業成果

指標（KPI）	全国学力・学習状況調査の学力調査結果（平均正答率）		
	現状値（2023年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）
	【小】国：64% 算：59% 【中】国：66% 数：45%	【小】国：66% 算：62% 【中】国：68% 数：49%	【小】国：65% 算：61% 【中】国：53% 数：46%
事業評価（効果）	寄附金も活用しながら、自動採点システムを導入し、教員の働き方改革を進めることで、教員の時間を創出し、より丁寧な学習指導の充実に繋がった。こうした取組などは、働き方改革に対する意識の向上や指標である全国学力・学習状況調査の学力調査結果（平均正答率）にも、一定、寄与したといえる。		
今後の方向性	教員の働き方改革は喫緊の課題であり、今後も取組を進めていく必要がある。導入したシステムの効果検証と、より効果的な新たな取組を検討していく。また、新たな予算の伴う取組を実施する際は、企業版ふるさと納税制度の積極的な周知と事業PRを行い、寄附金の獲得に努める。		

## 1. 寄附充当事業

事業名称	地域防災推進事業				
担当課	危機管理室				
事業概要	大規模災害があった際に、災害現場及び市災害医療センターと本庁との回線確保、自主防災組織からの依頼により、地区会館へ貸出を行うなど、衛星電話を活用することにより災害時の通信網を確保し、安心安全なまちづくりを進める。				
事業経費（円）	内訳				
	合計	寄附額	一般財源	国庫・府費	その他
	3,368,000	3,368,000	0	0	0

## 2. 寄附内容

寄附企業数	1社		
寄附金額（円）	合計	現金	価額
	3,368,000	0	3,368,000
物納の有無	あり		
物納の場合その名称	衛星携帯電話、プリペイドSIM		
物納の場合その内訳	衛星携帯電話：484,000円×2台 プリペイドSIM：1,200,000円×2枚		

## 3. 地域再生計画での位置づけ

基本目標	基本目標4	自然と調和しつつ、災害などから市民を守る安心・安全な環境をつくる
事業名称	第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生推進事業	
	エ 自然と調和しつつ、災害などから市民を守る安心・安全な環境をつくる事業	

## 4. 事業成果

指標（KPI）	自主防災組織の組織数		
	現状値（2022年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）
	30団体	30団体	32団体
事業評価（効果）	安全なまちづくりの推進に向け、企業版ふるさと納税の物納により、災害時の通信網を確保するための衛星電話を導入することができた。有事の際にスムーズに活用するためには日頃より実機を活用した訓練が重要となることから、防災意識の向上に資する取組となった。		
今後の方向性	地域防災の推進は自治体のみならず、企業や学校、地域住民などのさまざまな主体が協力して進めていくことが重要となる。そのため、今後とも、自治体として継続的な防災意識の向上に資する取組を進めながら、指標である自主防災組織の組織数の拡大に繋げていく。また、新たな予算の伴う取組を実施する際は、企業版ふるさと納税制度の積極的な周知と事業PRを行い、寄附金や物品等の獲得に努める。		

## 1. 寄附充当事業

事業名称	公園リニューアル事業				
担当課	都市整備部 まちとみどり保全課				
事業概要	市内の公園については、開設から大型遊具の更新をせずに使用し続けている公園が多く、経年劣化が激しい遊具が多数存在する。 今後も地域の憩いの場として幅広い年齢の方が利用しやすく愛着を持つことができる公園となるよう、公園利用者・校区小学校へアンケート調査を実施し、市民ニーズを反映しつつ、市内公園の大型遊具の整備改修を順次行う。				
事業経費（円）	合計	内訳			
		寄附額	一般財源	国庫・府費	その他
	9,768,000	9,082,500	0	0	685,500

## 3. 寄附内容

寄附企業数	1社		
寄附金額（円）	合計	現金	価額
	9,082,500	9,082,500	0
物納の有無	なし		
物納の場合その名称	-		
物納の場合その内訳			

## 2. 地域再生計画での位置づけ

基本目標	基本目標5	それぞれの地域の良さを活かし、快適で良好な生活空間を形成する
事業名称	第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生推進事業	
	オ それぞれの地域の良さを活かし、快適で良好な生活空間を形成する事業	

## 4. 事業成果

指標（KPI）	公園遊具リニューアル事業数（累計）		
	現状値（2022年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）
	3件	3件	4件
事業評価（効果）	本市では、計画的な公園遊具リニューアル事業に取り組んでいるが、今回、企業版ふるさと納税寄附金の活用により、公園遊具のリニューアルを実施することができた。子どもがのびのび遊べる場所の整備を進めてほしいという企業の思いにも応えることができ、リニューアル後の公園では楽しく遊ぶ子どもたちの笑顔が見られた。		
今後の方向性	今後も、地域の子どもたちや賛同いただける企業の声を聞きながら、地域に愛される公園整備を計画的に進めていく。また、企業版ふるさと納税についても、積極的な活用を図っていく。		

## 1. 寄附充当事業

事業名称	自治体DX推進事業				
担当課	政策企画部 政策推進室 DX推進課				
事業概要	近年、AI・RPAなどの活用により業務効率化を図ることにより、人的資源を振り分け、行政サービスの更なる向上が求められている。 庁内業務においても、自治体AIやAIによる自動文字おこし機能を備えた会議支援システムを導入することにより、業務プロセスの自動化・効率化、財政運営における最適化を図る。				
事業経費（円）	合計	内訳			
		寄附額	一般財源	国庫・府費	その他
	2,799,940	100,000	2,699,940	0	0

## 2. 寄附内容

寄附企業数	1社		
寄附金額（円）	合計	現金	価額
	100,000	100,000	0
物納の有無	なし		
物納の場合その名称	-		
物納の場合その内訳			

## 3. 地域再生計画での位置づけ

基本目標	施策の土台・前提	持続可能な行財政運営
事業名称	第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生推進事業	
	カ 持続可能な行財政運営事業	

## 4. 事業成果

指標（KPI）	情報リテラシー向上に資する研修参加者数（延べ数）		
	現状値（2023年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）
	50人	61人	94人
事業評価（効果）	RPAや生成AIを業務に活用することで職員の情報リテラシー向上に繋がるものであるが、今回、寄附金の活用により自治体DXの推進に資する取組を実施することができた。また、指標である情報リテラシー向上に資する研修参加者数（延べ数）についても、目標値を大きく上回ることができた。		
今後の方向性	職員がAIやRPAを適切に活用することができるようアナウンスを行うとともに、DXの活用状況を把握し効果検証を実施していく。また、新たな事業を実施する際は、企業版ふるさと納税制度の積極的な周知と事業PRを行い、寄附金の獲得にも努める。		

## 1. 寄附充当事業

事業名称	企業版ふるさと納税推進業務【人材派遣型】				
担当課	政策企画部 魅力発信課				
事業概要	民間企業での知見を活かし、企業版ふるさと納税の獲得に向けて、マッチング支援事業者のネットワークを活用し、企業へのアプローチするだけでなく、寄附企業へ刺さる寄附募集事業の選定やベネフィットを検証する。 また、個人版ふるさと納税の新規返礼品の提供を目指し、企業へのアプローチを行う。				
事業経費（円）	内訳				
	合計	寄附額	一般財源	国庫・府費	その他
	6,900,000	6,900,000	0	0	0

## 2. 寄附内容

寄附企業数	1社		
寄附金額（円）	合計	現金	価額
	6,900,000	6,900,000	0
物納の有無	なし		
物納の場合その名称	-		
物納の場合その内訳			

## 3. 地域再生計画での位置づけ

基本目標	施策の土台・前提	持続可能な行財政運営
事業名称	第2期藤井寺市まち・ひと・しごと創生推進事業	
	カ 持続可能な行財政運営事業	

## 4. 事業成果

指標（KPI）	経常収支比率		
	現状値（2022年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）
	96.6%	96.8%	99%
事業評価（効果）	企業版ふるさと納税を募集するための事業の選定や事業者へのアプローチを積極的に実施することにより歳入確保に繋がる。今回、民間企業より派遣されている職員の目線から、企業版ふるさと納税の寄附募集メニューのPR方法やベネフィットの検討を進めることで、効果的な見せ方を行うことができた。その結果、21社25,500,500円の寄附（物納・人材派遣型含む）をいただいた。		
今後の方向性	庁内職員への企業版ふるさと納税に関する制度理解を深めることができるよう周知を徹底し、制度を活用した財源の確保と指標である経常収支比率の改善を進めていく。引き続き、関係課で連携を図りながら、寄附募集メニューを作成し、積極的な周知と事業PRを行い、寄附金の獲得に努める。		